

審議会における論点

1. スマート保安(産業保安のテクノロジー化)の促進

○IoT、ビッグデータ・AI、ドローン等のテクノロジーが革新的に進展する一方、保安人材が枯渇する中で、安全性や効率性の向上とともに、我が国の産業構造や保安を確保していく観点から、スマート保安(保安のテクノロジー化)を早急に進めていく必要があると考えられるが、どうか。

○その際、従来の産業保安分野においては、保安体制が相当程度成熟化していることを踏まえ、安全確保を前提に、どのような措置が考えられるか。

2. 新たな保安上のリスク分野への対応強化

○FIT制度の導入など電力改革に伴う太陽光発電事業者・風力発電事業者の大幅な新規参入が進む中、再生可能エネルギーの健全な発展の観点から、その保安確保のあり方について、どのように考えるか。

○また、同時に、保安人材の高齢化が進む地方事業者に係る保安の確保のあり方などについて、どのように考えるか。

3. 災害対策・レジリエンスの強化

○近時、災害が常態化する中で、災害時における迅速で効果的な保安の確保の観点から、官民連携による対応のあり方(防災・災害復旧時など)、電力・ガス自由化下における保安責任のあり方、危機対応機能の強化などについて、どのように考えるか。

4. 将来社会に向けた保安規制面での環境整備

○気候変動問題への適切な対応が求められる中、保安規制の面において、カーボン・ニュートラルの実現に向けた環境整備にどのように貢献すべきか。特に、水素や再生可能エネルギー等に関し、安全を前提に、健全な発展を促すために保安規制のあり方をどのように考えるか。